

株主・投資家の皆さまへ

リンガーハット株主通信

2011年3月1日～2011年8月31日

Vol.12



RHD

株式会社リンガーハット



Ringer Hut Group
2012年、おかげさまで
創業50周年

<http://www.ringerhut.co.jp/>

証券コード: 8200



2012年の創業50周年に向けて
さらに企業体質を強化し、
経常利益率10%を目指します。

代表取締役会長兼社長

米濱 和英

2012年2月期第2四半期連結累計期間の業績について

当第2四半期連結累計期間は震災後の厳しい状況が続き、消費マインドは依然低下傾向にあるといえますが、当社グループでは前期の勢いを維持すべく高めの目標を掲げて果敢に挑戦してまいりました。

結果、ちゃんぼん事業は前年同期比増収増益を達成いたしました。とんかつ事業においては、減収減益と厳しい内容になりました。これは主に、3月の大震災に加え8月の天候不順の影響によるものです。

また、前期に引き続いて当期もドライブスルー導入店舗や居酒屋風のメニュー展開など新しいビジネスモデルの確立にまい進しています。着実に店舗数を増やしており、ご来店のお客さまから予想以上の評価をいただき、とても心強く感じています。たとえばドライブスルー型店舗においては、車を降りる必要がないので気軽に軽装でご来店いただけることになり、新しい顧客を獲得することができました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は173億23百万円(前年同期比4億92百万円増)、営業利益は5億83百万円(前年同期比90百万円減)、経常利益は5億22百万円(前年同期比64百万円減)となりました。また、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額として6億12百万円の特別損失

を計上したことなどにより、当第2四半期純損失は2億55百万円(前年同期は4億45百万円の純利益)となりました。

当期の経営戦略について

当社は、2012年に創業50周年を迎えるにあたり、当期は経営戦略を明確にして全社一丸となってさまざまな施策に取り組んでいます。

1. 店舗展開について

私たちは、「活気あふれる店づくりをしよう」をテーマに掲げて店舗の運営にあたっていますが、厨房の「見える化」や、声が聞こえやすいように間仕切りを撤去して、お客さまの五感に訴えるお店づくりを実践し、さらには接客マナーの向上によってリピーターづくりに成功しています。そして、このリピーターづくりには、女性店長の活躍が欠かせません。

店長の職務は、日常の店舗運営や管理業務に限らず、新規開店やリニューアル店舗の巻き返しなど、業績向上に大きく貢献するために、軌道に乗せ、そして次の店舗を開拓していくという重要な役割も担っています。

また地元に限定した範囲で勤務するエリア店長は、地域に密着したマーケティング・店舗運営・固定客づくりに貢献し、女性店長

が多数活躍しています。女性ならではのきめ細やかなお客さま視点とホスピタリティで着実にリピーターを増やしています。

このようにして、ちゃんぽんファンの底上げ・拡大を図り、2016年2月期には国内でリンガーハット、浜勝合わせて1,000店を目標に出店計画を進めてまいります。また、海外店舗の拡大につきましては、タイをはじめとして台湾・香港などアジアを中心に無理のない出店計画を進めており、国内・海外を合わせて「世界一のちゃんぽん店」づくりを目指しています。

2. 利益率の向上について

私たちは創業50周年にあたる来期において、経常利益率10%を目標に利益改善を図っていますが、同時に、コストダウンにも積極的に取り組んでいます。

電球のLED化や無駄な電気は使わないようにする節電対策は今後も当然のこととして継続してまいります。機械や備品のリサイクルならびに内製化によるコストダウンについては、これまでに培ってきたノウハウを活かしてさらに強化してまいります。

まずリサイクルについてですが、グループ会社であるリンガーハット開発株式会社によって、これまで倉庫に眠っていた什器・備品や厨房機器などをリサイクルし、各店舗が経費を抑えて機器や備品の入れ替えを行うことが可能となりました。さらに、リサイクルが増えることによって廃棄物を減らすことにつながり、環境保全活動においても貢献しています。

次に内製化ですが、店舗で使用する材料に対する工場内製品の比率は、3年ほど前までは平均して55%程度で推移してきましたが、徐々に比率を上げ、当第2四半期は75%となりました。特に、2009年10月以降は使用野菜をすべて国産化するとともに、自社工場で加工して内製化率がさらに上昇しています。ただ単に内製化によるコストダウンを進めるだけでなく、キャベツの糖度を高めるなど、品質の向上を図りながら競合他社との差別化に成功しています。

3. 「未来創造塾」について

人財育成は、当社にとって継続して取り組むべき最も重要な課題であると考えており、当期より「未来創造塾」を実施しています。これは、全国の当社グループ正社員のあらゆる部門・部署のメンバーが参加して、過去を振り返り、現在を見つめ直し、そして会社の未来について職位や年齢の垣根を越えて語り合いながら、未来に向けて伝えていくべき理念と、個人の決意を表明するという今までにない当社独自の教育研修です。縦割り行政的になりがちな組織において横断的なメンバーで研修を行うので、コミュニケーション不足が解消されてチームワークが向上し、組織の活性化が実現できるものと考えています。

また、当社では一つのことしかできない「スペシャリスト」よりもマルチに活躍できる「ゼネラリスト」の育成に重点を置いています。さまざまな業務に対応できる少数精鋭のスタッフを育成することで、複数の業務を任せられることができるようになり、たとえば間接部門のスリム化にも貢献することができて利益率の向上にもつながると考えています。

株主の皆さまへのメッセージ

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社の事業・経営にご理解をいただき誠にありがとうございます。さらなる経営体質の改善に取り組み、創業50周年に向けて、株主の皆さまとともに企業価値向上に努めてまいりたいと存じます。

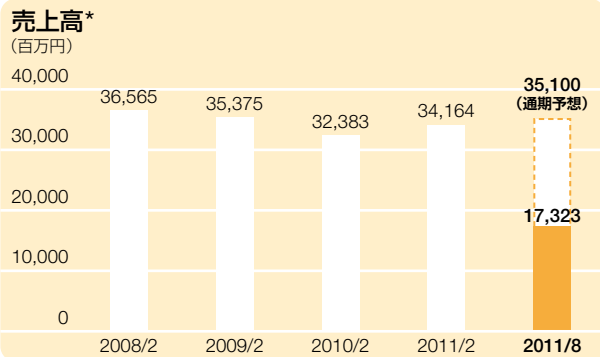
引き続き、当社経営へのご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年11月

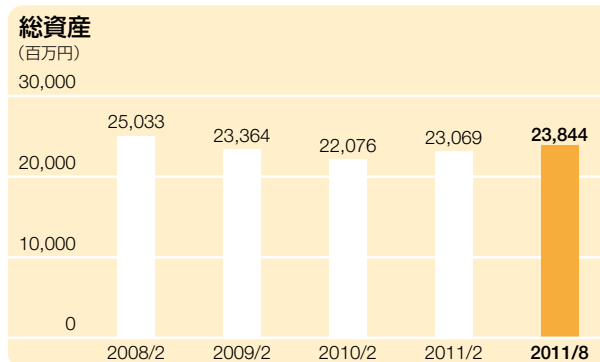
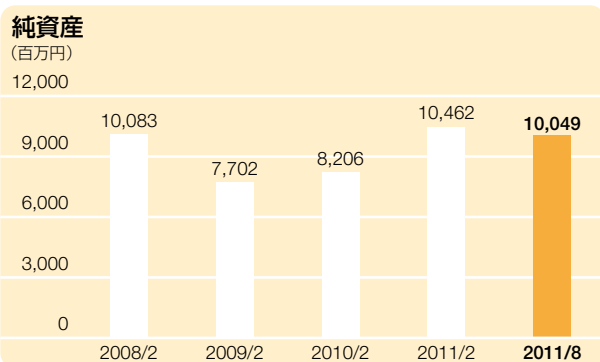
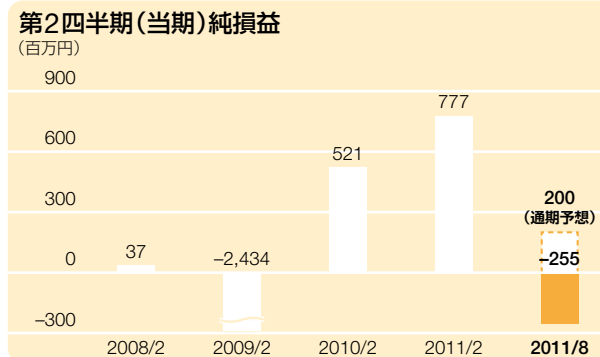
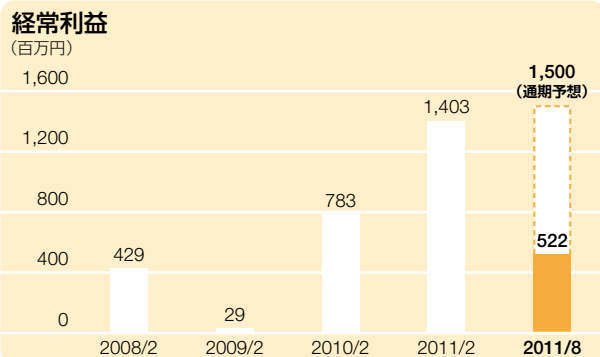
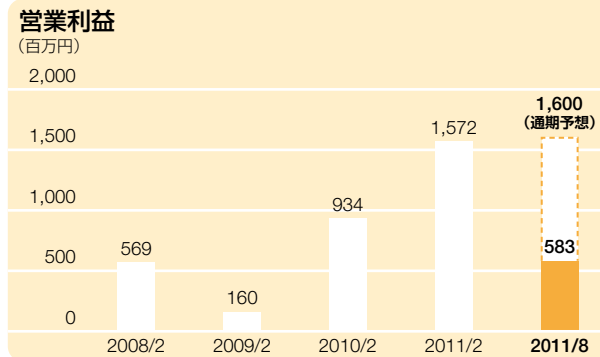
代表取締役会長兼社長



主要な連結経営指標の推移



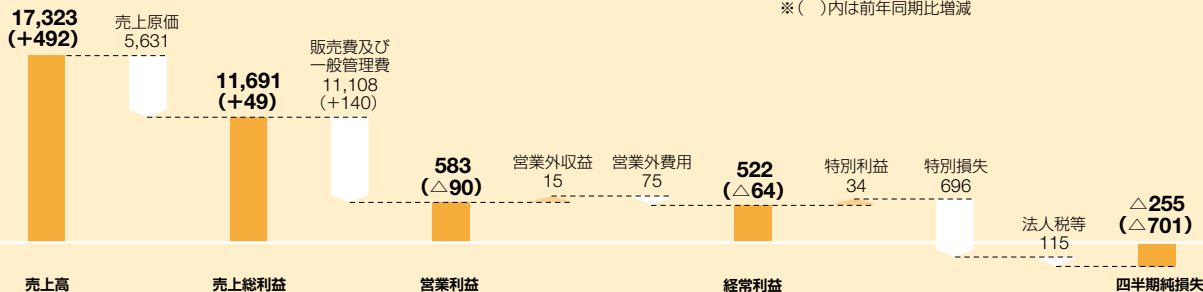
*売上高には「その他の営業収入」も含めて表示しております。



■ 連結業績ハイライト(第2四半期)

連結損益計算書の概要

(百万円)



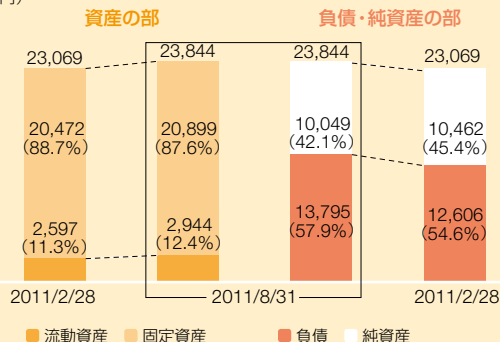
※売上高には「其他営業収入」を含めて表示しております。
 ※グラフを見やすくするため、数値と高さは比例していません。
 ※()内は前年同期比増減

ポイント解説 売上高の増加と利益の減少について

売上高は17,323百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益は583百万円(同13.5%減)、経常利益は522百万円(同11.0%減)となりました。これは、震災後の一時営業停止や計画停電による営業時間短縮及び震災後の消費マインドの低下に加え、食用油、豚バラ肉等の原材料の高騰や工場設備新設による製造原価の増加で売上原価が上昇したことによるものです。

連結貸借対照表の概要

(百万円)

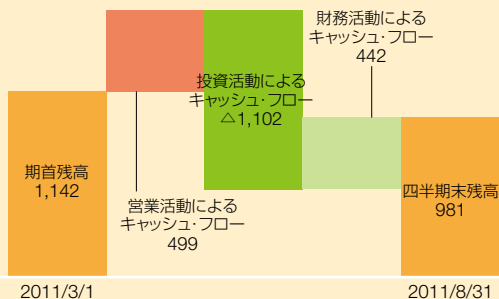


ポイント解説 資産、負債及び純資産の状況について

総資産の増加は、主に新規出店増加に伴う資産の購入と未収入金の増加によるものです。また、負債の増加は主に「資産除去債務に関する会計基準」の適用によるものです。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



ポイント解説 キャッシュ・フローの状況について

キャッシュ・フローの減少については、主に法人税等の支払額の増加や店舗閉鎖損失引当金の減少、新店や改装改造による有形固定資産の取得、長期借入金の増加によるものです。

リンガーハットは食を通じてさまざまな社会貢献をしています。

顧客第一

お客さまの声にお応えし、バリアフリー対応を推進するなど、お店の改善に取り組んでいます。

私たちは、お身体が不自由なお客さまにも安心して店舗をご利用いただけるようバリアフリー対応を積極的に推進しています。たとえば、段差の解消、スロープの設置、車椅子対応トイレの設置などです。年齢や障がいの有無にかかわらず、どなたでも安心・快適に過ごしていただけるよう店舗の質の向上を図ってまいります。



雇用促進

リンガーハットグループでは、積極的に障がい者の雇用に取り組んでいます。

私たちは、地域に根ざした企業として責務を果たすべく、また、自立した社会人として生活基盤を確立できるよう、障がい者の皆さんを積極的に採用しています。皆さんひとりひとりの個性を活かして、私たちの戦力として活躍しています。2010年度は5名の方を採用し、法定雇用率1.8%を上回る2.54%の採用実績を残しています。



海外戦略

アジアを中心として海外にも積極的に進出し、ちゃんぽんを広めてまいります。

2011年度末には海外5店舗を計画していますが、私たちは10年後の目標として、売上全体の半分を海外で占めたいと考えています。日本食の新たな創造と展開をビジョンとし、ラーメンでもない、「ちゃんぽん」をアジアを中心に広めるべく、慎重かつ大胆に展開してまいります。どうぞご期待ください。



復興支援

リンガーハットグループは、被災地の復興支援に向けて引き続き尽力してまいります。

私たちは、2011年3月11日の東日本大震災発生以降、約1万食近くの炊き出しを行うなど、微力ながらも被災地の復興支援をさせていただきました。またかねてより企画中であった移動販売車「リンガー号」がこの夏にようやく完成し、さまざまなイベントだけでなく、ボランティア活動などにも活用し、地域への社会貢献を果たしてまいります。



節電対策

全国の店舗・本部で省エネを推進しています。

リンガーハットグループでは全国数百店の店舗を展開しており、店舗で使用する電力も膨大になります。そのため、LED照明の導入や節電意識の啓蒙など、消費電力の削減に取り組んでいます。その結果、2006年比で約7%の削減を実現しました。特に「電化厨房」の導入は、ガス+電気併用厨房と比較するとCO₂排出量の約35%削減につながりました。



FC強化

グループ内のFCシェアを26%まで引き上げます。

リンガーハットグループの店舗は、直営店とFC（フランチャイズ）店に分かれますが、未出店エリアへの積極的な店舗展開と既存店の進化を目的として、地元有力企業とのコラボなどによりFC店の展開を積極的に進めてまいります。2010年度ではFC比率が21.4%でした。2011年度では26%まで引き上げ、経常利益率の向上を目指します。



会社情報

会社概要 (2011年8月31日現在)

会社名(英文名):

株式会社リンガーハット(RINGER HUT CO., LTD.)

設立:

昭和45年6月13日(創業 昭和37年7月22日)

資本金:

5,066,122,834円

主な事業内容:

長崎ちゃんぽん専門店「リンガーハット」、
とんかつ専門店「浜勝」のチェーン展開

店舗数(全595店舗):

北海道・東北地方	10店舗
関東・東海地方	230店舗
中部地方	37店舗
近畿地方	26店舗
中国・四国地方	24店舗
九州・沖縄地方	265店舗
海外	3店舗

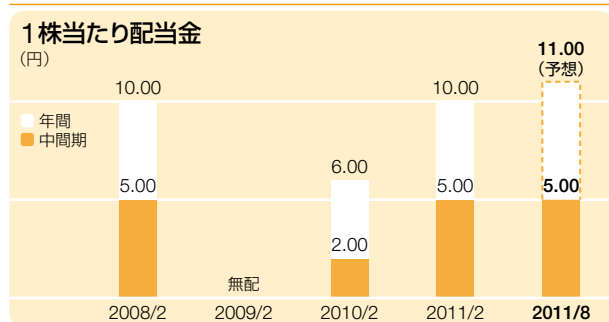
従業員数(連結ベース):

正社員/538名 リンガーメイト・スター
(パートタイマー・アルバイト)/9,229名

お問い合わせ先:

株式会社リンガーハット総務人事部
TEL. 03-5763-9100(代表)

これまでの配当実績



株式の状況

発行可能株式総数:	46,000,000株
自己株式数:	9,789株
発行済株式総数:	22,067,972株
株主数:	19,699名

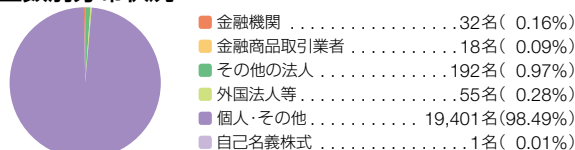
大株主一覧

	持株数(千株)	持株比率(%)
ヨネハマホールディングス有限公司	2,265	10.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,005	4.55
株式会社十八銀行	1,005	4.55
第一生命保険株式会社	629	2.85
株式会社三菱東京UFJ銀行	535	2.42
アサヒビール株式会社	527	2.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	469	2.12
株式会社損害保険ジャパン	446	2.02
株式会社福岡銀行	348	1.57
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	334	1.51

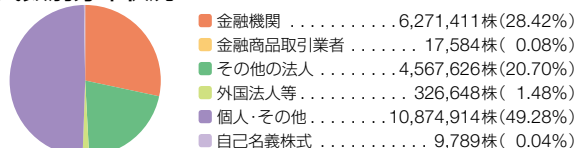
- ※1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社及び日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式数は、信託業務に係る株式数です。
 ※2. 持株比率は自己株式控除後の比率です。

株式分布状況

株主数別分布状況



株式数別分布状況



事業年度： 毎年3月1日～翌年2月末日
 期末配当金受領株主確定日： 2月末日
 中間配当金受領株主確定日： 8月末日
 定時株主総会： 毎年5月開催
 株主名簿管理人・
 特別口座の口座管理機関： 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先： 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目
 10番11号
 TEL. 0120-232-711(通話料無料)
 上場証券取引所： 東京証券取引所(第1部)、
 福岡証券取引所
 ※証券コード8200
 単元株式数： 100株
 公告方法： 電子公告によりこれを行います。但し、
 電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じた時は、日本
 経済新聞に掲載して公告します。
 ※電子公告掲載アドレス
<http://www.ringerhut.co.jp/>

株式に関するお手続きについて

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容

- 特別口座から一般口座への振替請求
- 単元未満株式の買取(買増)請求
- 住所・氏名等のご変更
- 特別口座の残高照会
- 配当金の受領方法の指定*
- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社
 証券代行部
 TEL. 0120-232-711(通
 話料無料)

*特別口座に記録された株式をご所有の株主さまは配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容

- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社
 証券代行部
 TEL. 0120-232-711(通
 話料無料)

- 上記以外のお手続き、ご照会等

口座を開設されている証券
 会社等にお問い合わせくだ
 さい。

株主の皆さまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、
 アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード 8200

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、
 いいかぶ と4文字入れて検索してください。



空メールにより
 URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
 アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
 アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、
 右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



株式会社リンガーハット

東京本社 〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目18番18号 NJビル
 TEL. 03-5763-9100(代)
 福岡本社 〒812-0042 福岡県福岡市博多区豊一丁目1番6号
 TEL. 092-432-8700(代)